

赤倉沢

1984年7月21日

I



上赤倉沢(仮称)の下降を終えて、手沢ぞいの跡をたどり、赤倉沢出合着11:50。進行を始めたと思うまもなく、左に支流を分ける。

この沢は左岸に跡がついており、沢の中に板きれのたぐいがやたらに目につく。「きっと上に何かあるに違いない」と話ながら進む。

沢の方は全く平凡。2mの小滝が出てきただけ。隣の上赤倉沢(仮称)とはおおちがいである。

上流には予想通り広場があって、家が建っていたような跡があり、トロッコのレールもあった。どうやら飯山の跡らしい。

気を取り直して先に進んだが、今度は碎石の山があっただけで、沢も終わりのようである。12:25進行を打ち切って、小休止の後、下降

に移る。

(記)

【タイム】 赤倉沢出合(11:50)→進行終了(12:25)

上赤倉沢(仮称・下降)

1984年7月21日

I

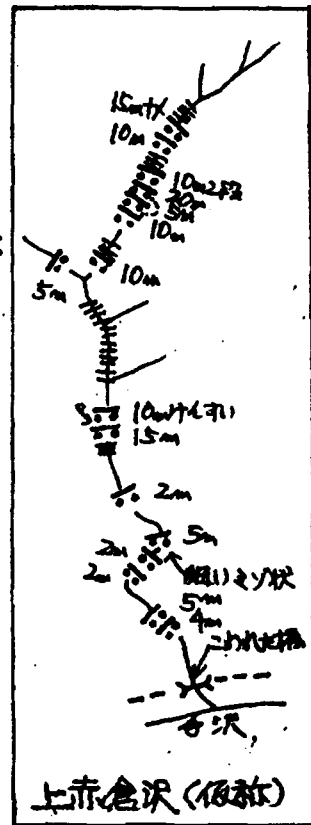
下降開始9:50。ぬかるみから小さなガリーが築まり、次第に沢らしくなってゆくさまは、とてもおもしろい。

10:05最初の滝15mナメ状が現われる。ホールド、スタンスとも豊富なので、快適にクライミングダウンする。

このあと、どこを切れ目にしたらよいのか迷ってしまうほど、滝とナメが続く。いずれもクライミングダウン。中津川支流赤倉沢の進行が早く終了したので、もう1本余分にやろうと選んだ沢が、こうも当るとうれしくなってしまう。

11:00に10mの滝。少々難しそうだということで、初めてザイルを出し、懸垂下降する。

もう沢も終点近くである。左岸に跡が現われる。手沢との合流点を確認し、当初下降予定だった手沢支流赤倉沢



に向かう。

この沢は、懸垂下降した滝以外はほとんどが斜瀑で、しかもホールド、スタンスが豊富なので、すべて楽々クライミングダウンできた。進行するにしても、楽しい沢だろうと思う。 (記)

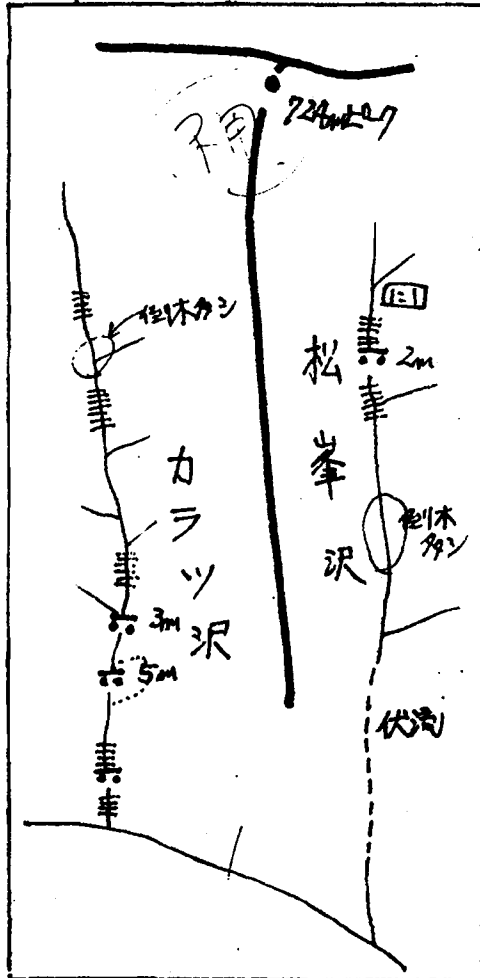
[タイム] 下降開始(9:50)→下降終了(11:40)

カラツ沢

1984年7月15日

L.....

白根沢にかかる橋を渡った所に車を置き、ワラジを着け白根沢を遡る。白根沢の沢幅は広く、ナメも美しい。が、クモの巣には閉口する。背の一番高い大西さんを



先頭にさせて、クモの巣払いをしてもらう。

歩き初めてから約1時間、目的のカラツ沢の出会いに着く。一休みしてから進行開始。

白根沢の続きで、ナメは続くが、沢幅は狭い。10分程進むと8mの滝が行手を阻む。直瀑で、どうも直登できそうもないので、右側を捲く。が、落口の両端が切り立っているため、アップザイレンで降りる。

この先1mの小滝がある。ここを越える時にハプニング。大西さんが登った直後、「ガラガラ」と石が落ちてきた。次の僕にあやうく当りそうだった。カモシカが落としたみたいだ。

この後は平凡な沢歩きで、所々に倒木があり、苦勞する。

しばらくすると水もなくなる。尾根を越えて松峰沢に入ることを考え、11:10進行を打ち切って枯れたスラブ状の枝沢に取り付く。 (記)

[タイム] 出合(10:20)→進行終了(11:10)